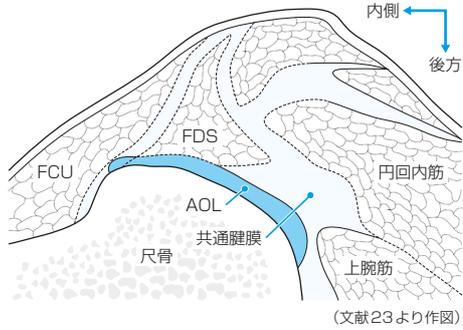
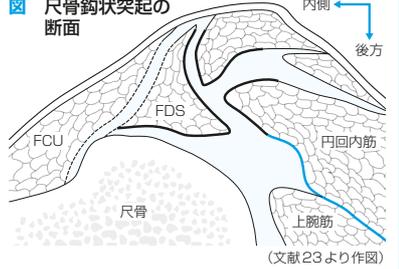
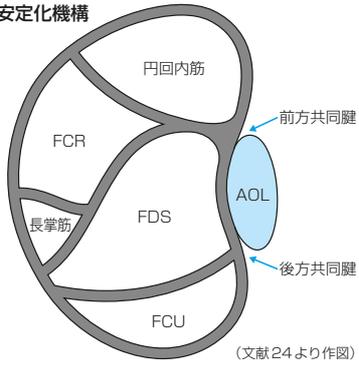


『肘関節理学療法マネジメント』正誤表

『肘関節理学療法マネジメント』第1版第1刷（2020年2月10日）に誤りがありました。

ここに深くお詫びいたし、訂正申し上げます。

(2020年4月2日 メジカルビュー社編集部)

ページ	該当箇所	誤	正
p.6	下から5行目	近年、 <u>円回内筋</u> 、 <u>浅指屈筋 (FDS)</u> 、 <u>尺側手根屈筋 (FCU)</u> 、 <u>上腕筋</u> の共同筋膜	円回内筋、浅指屈筋 (FDS)、尺側手根屈筋 (FCU)、 橈側手根屈筋 (FCR) の共同筋膜
p.7	図3	<p>図3 UCLの断面</p>  <p>(文献23より作図)</p>	<p>Clinical Hint</p> <p>肘内側の安定化構造 Hoshikaらは、肘内側の安定化構造は、共通腱膜や深層腱膜、筋内腱そして筋自体であり、円回内筋とFDS浅層の共通腱膜(太線)およびFDS浅層とFCUの共通腱膜(点線)、上腕筋筋内腱(青線)、FDS・FCU深層腱膜からなる複合体が腕尺関節に連なることで担っている²⁾。</p> <p>尺骨鉤状突起の断面</p>  <p>(文献23より作図)</p> <p>・図の修正と解説文の追加 ・囲み記事「Clinical Hint」へ変更</p>
p.7	新しく図3を追加		<p>図3 肘内側安定化機構</p>  <p>(文献24より作図)</p>
p.57	下から2行目	近年、 <u>AOLを円回内筋、FDS、FCU、上腕筋の共同筋膜を裏打ちする組織としてとらえる</u> ことが提唱され ²⁾	近年、 回内屈筋群の共通腱膜やFDS・FCUの深層腱膜、上腕筋筋内腱からなる複合体が肘内側の安定化を担っている ことが提唱され ²⁾
p.58	上から1行目	(本項では他項との整合性が得られるよう、AOLと表現する)	(本項では他項との整合性が得られるよう、 その一部をAOLと表現する)
p.58	上から4行目	…AOL後方に連続する ^{2, 3)} 。	…AOL後方に連続する ³⁾ 。
p.58	上から6行目	…船の帆のように <u>AOLを緊張させる</u> ことで、	…船の帆のように 緊張する ことで、